

島原市内観光組織の一元化～戦略的な観光推進体制の構築に向けて～ (長崎県島原市)

取組概要

市内の観光協会など観光関係4団体が平成28年9月末をもって解散し、10月より、観光プロモーション、観光施設の運営、物販などを一元的に担う株式会社「島原観光ビューロー」に移行。
→ 市からの業務委託・補助事業等を中心とした**行政主導の観光推進体制から、民間主導の「観光を経営する」体制への変革**を図る。

人口 46,456 人
担当 島原ふるさと創生本部

取組の効果

- 観光PR組織の統一による面的な観光客誘導(島原城から周辺施設への送迎サービス、各施設のスタッフが連携した新たなサービスによる観光客の誘導等)
- 島原城の収益最大化(入場料収入の増加、コストの削減等)により他の観光施設の管理・運営費に回すことが可能(市の負担軽減)
- 林立するまつり・観光イベントの整理・統合(参加者数、コスト見合い、市外からの来場者の割合、来場者の消費額等に応じたまつり・観光イベント開催の最適化)による市補助金の有効活用
- 観光プロモーションと物販販売との機動的な連携
- 観光・経営のプロによる民間の知恵を活用した観光プロモーション 等

創意・工夫した点

既存団体の解散・統合といった抜本的な体制の見直しを行っている点、物販機能の拡大を見越して株式会社化した点 等

他団体へのアドバイス

行政のリーダーシップ、民間の主體的な取組みのバランスが大切と考えます。



観光関係団体等からなる検討会議



「株島原観光ビューロー」設立説明会